



豪州準備銀行は金融機関向け資金支援策を拡充

- 豪州準備銀行(RBA)は政策金利の据え置きを決定。追加緩和策として金融機関向け資金支援策の拡充を公表。
- 金融機関向け資金支援策の規模は当初の900億豪ドルから2,000億豪ドルへ引き上げ。期限も21年6月末まで延長。
- RBAは豪州政府の財政政策に対して継続的な景気支援策を求める。豪州議会は給与補助金の延長法案を可決。
- 豪州議会は景気支援策に対して協力的な姿勢。次の焦点は10月6日の政府予算案での追加財政支援策の行方。

RBAは金融機関向け資金支援策の拡充を公表

豪州準備銀行(RBA)は9月1日の理事会で、政策金利(キャッシュレート)および豪3年国債利回りの誘導目標を0.25%で据え置く決定を下しました(図1)。

一方、RBAは今回の理事会において、追加緩和策として金融機関向けの資金支援策(ターム・ファンディング・ファシリティ)の拡充を公表しました(図2)。

RBAが3月19日の緊急理事会で公表した金融機関向け資金支援策の規模は900億豪ドル(約6.8兆円*)でしたが、今回の拡充策では金融機関のRBAからの資金調達可能額は2,000億豪ドル(約15兆円*)へ引き上げられました。

また、現行のRBAによる金融機関向け資金支援策は2020年9月末が期限とされてきましたが、今回の拡充策は2021年6月末まで9カ月間の延長が決定されました。

RBAは豪州政府に継続的な財政緩和策を求める

RBAによる金融機関向け資金支援策の拡充は、豪州景気の回復を促進するための金融・財政政策による協調緩和策のひとつと言えます。とりわけ、RBAは声明文で「財政政策が重要な役割を果たしている」と述べ、豪州政府に対して継続的な財政支援策を求める姿勢を示唆しました。

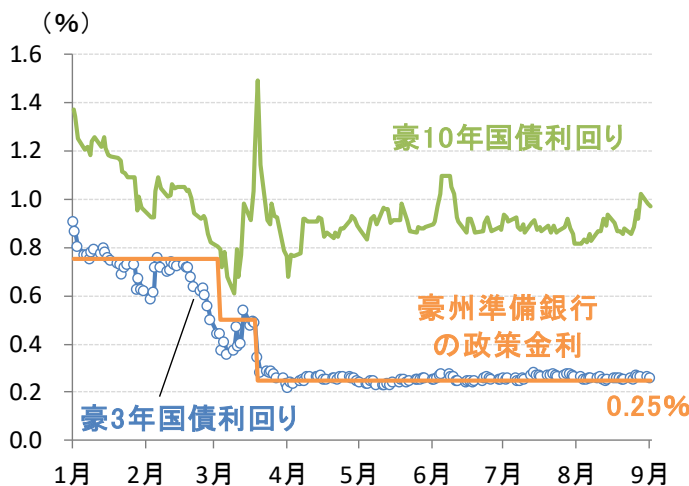
今後は10月6日の政府予算案に注目集まる

追加の財政支援策の面では、豪州議会は9月1日、給与補助金政策の延長法案(労働者への補助金支給を減額しながら2021年3月末まで6カ月間延長する政策、通称「ジョブキーパー2.0」)を可決しました。

豪州議会は景気支援策に対して協力的な姿勢を示しており、次の焦点は豪州政府が10月6日に公表する政府予算案での追加の財政刺激策の行方に集まりそうです。

(*)換算レート:1豪ドル=75円

図1:豪州準備銀行の政策金利と豪州国債利回り



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月1日～9月1日

図2:豪州準備銀行(RBA)による金融機関向け資金支援の拡充策の概要

- RBAは追加緩和策として、金融機関向け資金支援策(ターム・ファンディング・ファシリティ)の拡充を公表。
- 2020年9月末で期限を迎える現行の資金支援策を、2021年6月末まで9カ月間延長。
- 各金融機関は貸出総額の2%まで、0.25%の固定金利(期間3年)でRBAより直接資金調達することが可能。
- 現時点で金融機関がターム・ファンディング・ファシリティを通じて調達した資金額は520億豪ドル。
- 今回の資金支援の拡充策により、金融機関の資金調達可能額は約2,000億豪ドルへ増加(3月19日にRBAが公表した資金支援策の規模は900億豪ドル)。

(出所)豪州準備銀行(RBA)

(注)2020年9月1日のRBA理事会での決定内容。

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。